



車いすラグビー日本代表 今井友明選手
我孫子市民文化スポーツ栄誉章贈呈式及び先輩を囲む会

今夏の東京2020パラリンピックの車いすラグビー競技に日本代表として出場し、2016年のリオデジャネイロパラリンピックに続き、2大会連続の銅メダルを獲得した今井友明選手へ、我孫子市民文化スポーツ栄誉章を贈ることを令和3年9月5日に決定しました。その贈呈式を、下記の日程で実施します。

日 時 令和3年11月30日（火）

11時20分～11時30分【第1部】我孫子市民文化スポーツ栄誉章贈呈式

11時35分～12時25分【第2部】今井友明先輩を囲む会

場 所 我孫子市立白山中学校 体育館

出席者 今井友明選手

星野順一郎市長、青木章副市長、丸智彦教育長

白山中学校 佐藤知代校長、我孫子第四小学校 小林道治校長

白山中学校2年生（1、3年生はリモート参加）

我孫子第四小学校児童会代表 など

今井友明選手は、我孫子第四小学校、白山中学校出身で、26歳の時に本格的に車いすラグビーを始め、30歳には日本代表の強化指定選手に選ばれました。その後、初出場のリオデジャネイロパラリンピック及び今夏の東京2020パラリンピックにおいて、日本代表の主力選手として、2大会連続で銅メダルの獲得に大きく貢献されました。今井選手の活躍と勇姿をたたえ、我孫子市民文化スポーツ栄誉章を贈ることとしました。

贈呈式は、今井選手の母校である白山中学校の体育館で実施します。また、第2部として、白山中学校生徒会が企画する「今井友明先輩を囲む会」を実施します。囲む会では、今井選手からのお話のほか、車いすラグビー体験などを実施します。

【問い合わせ】

我孫子市総務部秘書広報課

担当 安武

☎ 04-7185-1714

04-7185-1111（内線272）

今井友明選手プロフィール

生年月日：1983年3月12日

出身地：我孫子市（我孫子第四小学校・白山中学校卒業）

所属：三菱商事株式会社

(主な競技歴)

- 2009年 本格的に車いすラグビーの練習を開始
- 2013年 車いすラグビー日本代表強化選手に選出
- 2014年 世界大会第4位（デンマーク・オーデンセ市）
- 2015年 アジア・オセアニア・チャンピオンシップ優勝（日本・千葉市）、同大会で1.0クラスのベストプレイヤー賞獲得
- 2016年 リオデジャネイロパラリンピックに出場、日本初の車いすラグビー銅メダル獲得
- 2017年 Tri Nations Wheelchair Rugby Invitationalに出場（アメリカ）、日本代表チーム優勝
我孫子市スポーツボランティアシンポジウムにて講師・パネリストを務める
- 2018年 World Championshipsに出場（オーストラリア）、日本代表チーム優勝
- 2019年 車いすラグビーワールドチャレンジ2019に出場（日本）、日本代表チーム3位
- 2021年 東京2020パラリンピックに出場、2大会連続となる銅メダル獲得

我孫子市民文化スポーツ栄誉章について

1. 目的

文化又はスポーツの活動により広く市民に敬愛され、社会に明るい希望を与え、我孫子市の名を高めた者に対し、我孫子市民文化スポーツ栄誉章を贈ることによりその栄誉をたたえ、もって市民のふるさと意識の高揚に資することを目的としています。

2. 顕彰の対象

- ・文化又はスポーツの分野での業績が顕著であつたと認められる個人又は団体
- ・かつ、市内に居住している者、居住していた者、市内に所在している団体

3. 顕彰者の選定基準

- ① 世界的規模の芸術のコンクール等で顕著な成績を収めたもの
- ② 国際オリンピック大会、世界的規模のスポーツ競技会において、
 - ・顕著な成績を収めたもの
 - ・公式の世界記録を更新したもの
- ③ 文化又はスポーツの分野の活動をとおして広く市民に夢と希望を与え、潤いと活力のある社会づくりに貢献したと認められるもの

4. 過去の顕彰者

昭和58年9月に「我孫子市民文化スポーツ栄誉章顕彰規則」を制定して以降、これまでに9名の方を顕彰しました。今回の今井友明選手は10人目の顕彰者となります。

氏名	顕彰年月日	顕彰時の主な功績
青木 功	S58.12.28	ハワイアンオープンゴルフ 優勝
檜崎 教子	H12.11.15	シドニーオリンピック女子柔道 銀メダル
林 由郎	H14.11.3	関東プロ、日本プロ、日本オープン等で優勝するなどプロゴルファーとして顕著な功績を挙げられた。
金子 誠	H16.10.24	アテネオリンピック野球競技 銅メダル
内山 春雄	H19.1.20	国際バードカービング・コンテスト世界チャンピオンクラス 第3位、卓越した技能者（現代の名工）表彰（厚労省）
上橋 菜穂子	H26.6.24	国際アンデルセン賞作家賞 受賞
海老原 清治	R2.7.1	平成12年 欧州ツアー賞金王、令和2年1月日本ゴルフ殿堂入りなどプロゴルファーとして顕著な功績を挙げられた。
田嶋 幸三	R2.7.1	（公財）日本サッカー協会会長。市民向け講演や、本市の名誉市民選考委員会委員などを務めるなど社会づくりにも大きく貢献されている。
太田 治	R2.7.1	ジャパンラグビートップリーグチェアマン。令和元年のワールドカップで日本代表が初のベスト8進出。NECグリーンロケッツ OB 等と「あびこラグビースクール」を立ち上げるなど社会づくりにも大きく貢献されている。